

父が忙しそうにパソコンに向かっている。何をしているのか聞くと、持続化給付金の申請手続きの最中だという。ニュースで耳にした言葉だが、詳しくは知らなかったなので、調べてみることにした。

持続化給付金とは、新型コロナウイルスの影響で売上げが大きく落ち込んだ事業者が対象の給付金のこと。私の家も自営業で、新型コロナウイルスの影響により打撃を受けたため、この給付金を受け取ることができた。

驚いたのは、このような給付金には税金が使われているということだ。税金のおかげで医療費の自己負担額が安くすむ、ゴミ収集を無料で行ってもらえる、警察を呼んでもお金がかからないなどとは知っていたが、このような所でも、税金は国民のために使われていると知って嬉しくなった。やはり税金は無いといけないものなのだと思う。

去年、消費税率が八パーセントから十パーセントに上がった。その時の私は、深く考えずに、(値段が上がるのか〜。イヤだなあ。) としか思っていなかったが、税金は国民を苦しめるために搾り取られるようなものではない。国民の暮らしをより良くするために使われるものなのだ。そう思うと、たった二パーセント、ケチな事を言うべきではないと感じた。

だが、税金を払わない人も世の中にはたくさんいる。確かに、自分で稼いだお金なのだから、全て自分の好きなように使ってしまいたい気持ちも分かる。しかし、思い出してほしい。そのような人達もきっと、税金のおかげで受けられる公的サービスを日常的に利用していることだろう。そして、気づいてほしい。私達は常に、知らない誰かが払ってくれた税金のお世話になっているのだ。だから、私達は税金を払う。お世話になったお返しとして、感謝の気持ちを込めて、払うべきなのだと思う。

私も、あと数年もしたら大人になって、仕事をして、自分でお金を稼ぐようになる。そのとき、税金を当たり前払える大人になりたい。高齢化が進めば、二〇五〇年には高齢者と若者の比率が一对一・三になると言われている。そのときは私達が頑張って、高齢者を支えていかなければならない。社会のためにと考えれば、払う税金も大した出費ではないように思えてくる。私の夢は、人の役に立つことだ。きっと、納税という形でも、人の役に立てると信じている。